

平成29年度 市民との意見交換会における意見の整理・集約表(回答用)

	市民からの質問・意見・要望	当日の回答	会場	意見等に対する見解と対応策について	所管課
北アルプス国際芸術祭について	スタッフでいた市の職員からのあいさつがなかった。案内地図はもっとわかり易いように作ってほしい。	ご意見として承る。	大町	あいさつは、お客様をお迎えする基本であり、市職員、ボランティアサポーターなど運営に携わるスタッフに徹底してまいります。案内地図は次回に向け改善・工夫します。	まちづくり交流課
	芸術祭の感想など話し合える場がほしかった。	まちづくり交流課及び国際芸術祭実行委員会に伝える。	平	次回の準備を進める中で、市民の座談会などを企画してまいります。	
	国際芸術祭は今後開催されるのか。ボランティアとして参加したが、作家あつての芸術祭だと思うので、また開催されるのであれば協力したい。	12月定例会全員協議会にて詳細な評価・分析結果が報告される予定となっている。様々な議論がされると思うが、議会としても芸術祭の検証を行っていく。	常盤	次回は2020年に「トリエンナーレ（3年毎に開催する美術展）」として開催を予定しており、多くのボランティアサポーター、市民の皆様にご参加いただきたいと考えております。前回の経験を踏まえ、多くの皆様に参加しやすいよう工夫します。	
	芸術祭期間中に霊松寺で演奏した影武者さんも芸術家として扱ってほしい。	ご意見として承り、実行委員会(行政)へ伝える。	常盤	地元にも数多くの芸術家(アーティスト)が活動されておりますが、芸術祭ではそれらの芸術家の中から選任された作家の作品をご紹介します。	
	公式ガイドブックの字が細かく小さすぎる。わかりやすいものを追求する必要があったのではないかな。	検証の1つである。今後開催するとなれば改善するよう求めていく。議会としても検証を行っていくが、人口減少社会の中で開催間隔もトリエンナーレ、ビエンナーレどちらがいいのかなどの分析や評価を行う。	常盤	幅広い層のお客様にご来場いただくためにも、ご意見のような配慮や工夫が必要と考えております。使い易さを含め、次回に向け検討します。	
きらり輝く協働のまちづくり助成金について	成果が見えない。助成金が終わると活動も途切れる団体があり、何も残らない。大町にはすばらしい宝がある。地域にあるいいものを、市と市民が協働で掘り起こしていくべき。	議会の事務事業評価でもこの事業について、どのような成果を期待しているか目標が明確でないと評価したうえで、総合評価を「改善のうえ継続」とした。行政も助成団体の事業成果をしっかりと検証すべき。議会も検証していくが、今日のご意見を行政へ伝える。	大町	助成団体が申請時に計画した事業効果が達成できているか検証するとともに、各団体向けのアンケートを実施し、助成金終了後も活動が継続できるようフォローアップを行います。また、市と市民の皆様が協働で地域の財産を掘り起こしていけるようサポートします。	まちづくり交流課
	大事なことは、市民活動を連携させるシステムを築くこと。市民も本気にならなくてはならない。団体同士が情報を交換して結び付き、地域経済にも結び付ける組織、システムが必要。そういう意味では、市、農協、商工会議所も機能していない。	ご意見として承り行政へ伝える。	大町	活動を連携させ地域経済に結び付けることは大切ですので、市民活動サポートセンターでは団体同士の活動を繋げられるようサポートするとともに、公開審査会や最終報告会等でも交流の場を設けております。今後は、団体同士の意見交換の場の設置を検討します。	
インバウンドについて	最近は大町にも外国人がたくさん来て、農家に泊まって農業体験などをしていく。旅行エージェントは通さず、個人でインターネットを調べてきているらしい。	今のお話を参考に、インバウンド対策や情報発信について検討するよう伝える。	大町	団体旅行から個人旅行への志向変化は外国人旅行者でも顕著であり、SNSを活用した情報発信をさらに強化し、発信力の高いプロガー招致にも引き続き取り組みます。	観光課
			大町	安曇野市、松川村と連携し中学生を中心とした学習旅行を受入れており、農家に宿泊いただき農作業等を体験いただいておりますが、外国人の農業体験につきましては、状況を把握するとともに、観光課、商工労政課と連携して検討を進めます。	農林水産課
情報発信の在り方について	大町には、地域の魅力がたくさんある。各地のお祭りやイベントなど情報発信力が不足している。積極的な情報発信をしてほしい。	地域の情報を集約する仕組みの構築や情報発信の一元化、SNSなどを活用したタイムリーな情報発信をするために、抜本的な見直しを図るよう行政側に強く伝える。	平	関係各課や団体等と連携を強化し、地域情報を集約する仕組みづくりを進めつつ、市内で行われる行事などの事前周知に取り組むとともに、できる限りケーブルテレビでの放送や「広報おおまち」で取り上げ、情報発信に取り組みます。	情報交通課
			大町	個人旅行への志向変化が進む中、観光情報の発信もSNSの活用に力を入れており、市観光協会からの情報発信をさらに充実するとともに、より細かい地域情報の把握、発信方法についても研究します。	観光課

平成29年度 市民との意見交換会における意見の整理・集約表(回答用)

	市民からの質問・意見・要望	当日の回答	会場	意見等に対する見解と対応策について	所管課
商店街の活性化について	芸術祭が開催されたが、商店の積極性に差が感じられた。お客様を迎え入れるための工夫が必要だと思う。	芸術祭の開催により市民の意識が変化してきている。芸術祭の途中からではあるが、商店街も休日営業を行うなど改善が見られた。 商店の自発的な取り組みが向上、継続されるよう、市、観光協会、商工会議所などを通じて、各商店の連携により、地域の活性化につながるよう、行政側に働きかける。	平	芸術祭は初めての開催でもあり、来場者数の予測などに難しい面があったと思います。ご意見のような今回明らかになった課題を関係団体、関係者が共有し、連携して受入れ体制の充実に取り組みます。	まちづくり交流課
			常盤	今回の芸術祭では、予想を上回る来場者に訪れていただきました。商工会議所会員へのアンケート結果では、飲食業は、約6割の店舗が「増加した」と回答している反面、小売業においては、約7割の店舗が「変わらない」と回答しており、業種において大きな差がありました。 今後においては、商工会議所や商店街連合会などと連携し、地域にお金を落とす仕組みづくりや受け入れ態勢について検討します。	商工労政課
信濃木崎夏期大学について	夏期大学は椅子に座って受講できないか。あの場所で受講することに意義があることは承知しているが、平公民館には椅子と机があるため会場を移せば可能ではないか。	高齢化が非常に進むなかで必要な意見である。行政へ伝える。	常盤	場所を変更することは検討しておりませんが、夏期大学では座椅子を約100脚用意しており、あらかじめ夏期大学事務所に電話で予約することができますので、ご利用ください。	生涯学習課
木崎湖周辺の活性化について	大町市の観光資源である木崎湖の湖畔周辺が廃れてきている。地元の人から、バイパス道路整備の機会を逃したことも一因であり、過去には地元自治会からの反対があった、と聞いた。バイパス道路が木崎湖から離れており、観光客も通り過ぎてしまっている。木崎湖の水はきれいでもキャンプ場もあり、立派な観光資源である。例えばキャンプ場が有料であることが原因で客離れがしているのではないか。無料で開放することはできないか。	確かに木崎湖周辺で碎石をとるの話があったが景観上の問題で反対があった。キャンプ場が市の所有地であれば検討する余地はあるが、私有地であるため難しい。トイレの清掃や木崎湖の水質調査などの問題を議会でも取り上げており、課題については、行政へ伝える。	常盤	仁科三湖は当市の重要な観光資源であり、国際芸術祭でも多くの旅行者が訪れました。キャンプ場や湖周辺への訪問者の意見を精査し、地域の魅力向上に向けた検討を早急に行います。	観光課
常盤上一住宅について	上一住宅の国道沿いの土地が更地になったため、見通しがよくなってしまったことで、防犯上の不安がある。例えばみかん1箱3万円で買われた高齢者がいる。	市役所市民課に消費生活センターがあるため、なるべく早く通報をしていただきたい。	常盤	本事案のような場合には、速やかに警察又は消費生活センターへ通報をお願いします。消費生活センターでは、専門の相談員が随時相談を受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。 悪徳業者による訪問販売や移動販売については、広報などにより注意喚起を引き続き行います。	市民課
市立大町総合病院について	大町病院の産婦人科や小児科の医師をもう少し確保し充実してほしい。  特に高齢者には、地元の病院を使う方が都合いいので、いい先生に来てもらっていい病院になってほしい。	全国どこでも医師不足の状況のなか確保は難しい。医師確保することも必要ではあるが、まずは大町病院が地域医療を続けていくために、立て直す必要がある。	常盤	現在、病院経営の健全化を主眼とした新改革プランに沿って各種取り組みを進めています。安定的な医療提供体制を確保できるよう、引き続き医師の招聘に努めます。	病院
			社	市民の皆様が住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、地域の関係者等との連携を強化し、入院患者の受入体制を充実していくとともに、在宅医療提供の充実など地域包括ケアシステムの拡充を図り、地域の医療ニーズに応える病院を目指してまいります。	病院
	公園周辺の臭気問題もリピーターが増えない要因だと思う。また、立川市の昭和記念公園は駅からそのまま行けるため、利便性はだいぶ違うが、この地域ならではの特色を生かした観光地としてのPRが必要であり、地元の直売所や協力していただいている住民とタイアップして地場産品を売るなど、もっとPRしていくべきである。また、自転車のコースもあまり認知されていない。レースとは別に楽しみを伝えていくべきだ。	行政もうまく国営公園の活用ができていない。例えば信濃大町駅から国営公園やちひろ美術館などを周回する周遊バスがあるが、ルートや周知方法などの改善すべき点について議会としても検証・研究している。貴重な意見として承り、行政へ伝え改善を求めていく。	常盤	国営公園への観光周遊バスについては30年度から増便し、より利用しやすくするとともに、体験イベントなどの情報発信を充実します。県外からの訪問者だけでなく、地元に向けても国営公園の魅力の発信に力を入れます。	観光課
			常盤	市民バス常盤コースが国営公園に回っておりますので、活用いただけるよう関係機関にも伝えて周知を図ってまいります。	情報交通課
			常盤	地元農産物等の販売につきましては観光課と連携し、国営公園と調整するとともに、直売所の皆様の意向をお聞きしながら対応してまいります。	農林水産課

平成29年度 市民との意見交換会における意見の整理・集約表(回答用)

	市民からの質問・意見・要望	当日の回答	会場	意見等に対する見解と対応策について	所管課
	国営アルプスあづみの公園について	あづみの公園は国営公園である。本来は大町・松川地区が先に開園の予定だったが、穂高・堀金地区が開園になり経済情勢が悪くなった後、大町・松川地区が開園となった経過がある。国では国民の休息を目的に施設を作ったため、利用さえしていれば採算は基本的に関係ないとの説明である。重要な問題だと認識しており、行政へ伝えていく。全国の国営公園でも同様な状況であり、当初の想定より来園者数は少ない状況である。国の事業で都会の人々の休息場所として作ったが、地元としても活用をしていく必要があると考えている。 全国17ヶ所の国営公園のうち2ヶ所に視察に行ったが、経営優先というよりも休息を中心としていた。地域の特徴を生かした国営公園には人が集まっている。 市にも国にも現状を伝えるが、地域住民の協力も必要不可欠だと思う。来年信州花フェスタが開催される予定であるため地域住民の協力をお願いしたい。	常盤	国営公園側では、家族で楽しめるイベント等を数多く企画するほか、最近では自転車関連にも力を入れており、市としても貴重な観光資源と考えています。今後も芸術祭や花フェスタ、北アルプス山麓イベントなど、地域と一体となった企画を充実します。また、特に夏休みの溪流レクリエーション、森林イベントは県外家族客からの人気が高まっており、冬場のスノーシュー体験等は修学旅行でも活用されています。広大な施設が効果的に活用されるよう、国営公園との連携を強化します。	観光課
旧大町北高校の跡地利用について	旧北高の跡地を地元で有効に使えるよう検討できないか。	所有者は長野県である。現在は大町岳陽高校の部活動で体育館とグラウンドを使用している。あと2年間は使うということであり、その後の利用方法は決まっていな。地域の住民の思いや何が必要とされているのかを聞いて、活用する方策を検討する必要があると考えている。	常盤	県有地であることから、今後の活用や財産としての扱いについて情報収集を継続するとともに、市としても跡地の活用に関心を持ってまいります。	学校教育課
	防災上の拠点にも使えるような場所になればいいと思う。県と協議はできないか。	防災マップがあるが旧北高の校舎自体は耐震補強がされていないため危険となっている。そのため旧北高跡地は避難場所として指定されていない。要望として承り、行政へ伝える。	常盤	グラウンドは、一時的に避難する指定緊急避難場所となっています。県の利用計画が示されるなかで協議してまいります。	消防防災課
防災について	中越地震の際にはビニールハウスが安全であったと聞いたが、有効に使うべきと思う。有効な対策について情報を集めることが重要である。	先日美麻地区で総合防災訓練があったが、身近にある物を利用した救援の講習が参考になった。こうした身近な訓練も必要である。	常盤	集落ごとの避難所が望ましいということから、農家集落では、身近にあるビニールハウスを避難所とすることが効果的な事例もありました。一方では、気象状況や避難者の健康を考慮すると必ずしも良いとは言えない場合もあるため、幅広い利用を検討してまいります。	
	常盤公民館は避難場所であるが、ガラスが多く大きな地震には耐えられない。常盤公民館に関わらず施設の耐震性や災害時の運営方法などの見直しが必要。自治会も行政任せになっており、災害時にはどう行動するのか把握ができていない。防災に関してもう一度見直して、非常事態時のシステムを明確にすることにより、市全体の指標・方針を示していただきたい。総合防災訓練もより現実味のある訓練をするべきである。	個人情報の問題を重要視すると安全には繋がらないなどの課題が多く、行政も市民も避けてしまっているように感じている。具体的に進めるよう行政に伝える。	常盤	平成28年度に避難所開設・運営マニュアルを作成し、施設管理者に配布しました。これを基に、自主防災会の皆様を対象に、年1回市内6地区を持ち回りで訓練を実施しています。その他、年2回の火災予防週間時に住民参加型訓練を地区持ち回りで実施しています。今後も自治会、自主防災会が積極的に防災活動に取り組むよう呼びかけるとともに、市も国、県と協力し地域の活動を支援します。	消防防災課
	常盤でも同日に消防団員に来ていただき、同様の訓練をしたがとても有効な訓練であった。災害時に身近な物を利用して助かったという体験談を細かく情報収集をして、それを生かすための訓練をしないと意味がない。今後も有効な防災訓練をした方がいいと感じた。	救護の講習では、AEDの使い方の中にお風呂場での処置はどうするのかなど、様々な注意点を開けた。日常の訓練は非常に大事である。	常盤	火災予防週間に併せ、広域消防と消防団が講師となり、救出・救護・救命・消火の住民参加型訓練を市内6地区を持ち回りで年2回実施しており、多くの市民に参加いただいています。今後も参加しやすいよう訓練内容の充実を図ります。	
神城断層地震の時にけが人が出なかったのは、近所同士で家族構成やどこで寝ているのかということが共有されていたため助け合うことができた。災害時に個人情報を共有する必要性も理解できるが、自治会名簿は自治会で作成して数年で役員が変わるため、その処分が行われず流失してしまい悪用されるという危険性がある。	ご意見として承り、行政へ伝える。	常盤	避難行動要支援者名簿を本人の同意のもと作成しており、関係自治会及び消防団に情報管理の徹底を図ったうえで提供し、災害時に役立ててもらおうとしています。		

平成29年度 市民との意見交換会における意見の整理・集約表(回答用)

	市民からの質問・意見・要望	当日の回答	会場	意見等に対する見解と対応策について	所管課
陳情について	陳情への市の対応方法などを知らせてほしい。すぐに対応できない理由や進捗状況を地元で教えてほしい。	市では道路や水路などの修繕費はある程度の額を予算確保するので、多額の費用がかかる修繕等は陳情してほしい。地元で議員がいらないから陳情が解決しないのではなく、市では限られた予算の中で優先順位を決めて取り組んでいるので、なかなか実現できないものがあることをご理解いただきたい。自治会へのフィードバックは重要と考える。	社	厳しい財政状況の中で、緊急性、整備効果等を総合的に検討し、優先順位をつけて計画的に事業を実施しています。いただいた陳情には可能な限り状況をお伝えしていますが、多数の陳情を頂いており、必要に応じて担当課へお問い合わせいただくようお願いします。	建設課
	道路の場合、市の管轄なのか県の管轄なのかわからない。県に対する陳情があってもいいのではないか。	要望として承る。	社	道路整備等に関する要望・陳情内容については、それぞれの道路管理者が対応について判断します。ご意見のような要望・陳情先が不明な場合は、市の建設課に陳情書の提出や要望内容をお問い合わせいただければ、市が関係機関へ要望いたします。	
仁科神明宮の参道拡幅について	議会でもしっかり取り組んでほしい。	議会にも陳情があった。遷宮までに間に合わせるよう取り組んでいる。	社	市道神明宮線は、近年大型バス等で参拝者が訪れる観光的要素が高い市道であり、昨年度より事業着手し一部用地取得が完了しました。本年度から来年度に亘り計画的な拡幅工事を予定しています。	建設課
市民バスについて	ふれあいバスの時刻表や運行路線は、地元同意を経て決めてほしい。	市議会交通網対策特別委員会でも検証している。特別委員会から担当課に、市民に役に立つ利用しやすいように訴えてきた。議会でも引き続き検証していく。	社	ふれあいバスは、市内多くの地域にわたって運行しており、個別の事情をすべて反映することは困難ですが、地元の皆様の意見をお聞きし、関係機関と連携するなかで、市民の皆様にとってより利用しやすい運行路線、ダイヤとなるよう研究してまいります。	情報交通課
高校への通学について	美麻からはバスや車などの乗り物を利用しないと駅には行けず、松本市の高校には通えない。しかし現状は毎日保護者が送迎しないと通えない。通学に合わせたバスは出せないのか。また乗合タクシーのサービスは検討できないのか。	市民バスには約1億円計上されているが利用者が少ない状態である。この状況で1本増やすとするとさらに予算は掛かるため厳しい。人口減少や高齢者が増える状況の中、子育て支援も何らかの策を講じる必要がある。議会としても意見は拾いあげて行政に伝えていく。	美麻	現在、市民バスふれあい号では、美麻コースを境の宮線及び川手線の2路線で運行していますが、一番早い便は、境の宮線が信濃大町駅7時31分着、川手線が信濃大町駅7時29分着です。これより早い便、ダイヤの設定は、運行経費が増加し、市民の皆様の負担増につながることから、現時点ではご希望に沿えないことをご理解いただきますようお願いいたします。 また、デマンド交通の導入については、地域の状況、利用者のニーズ及び運行に係る経費等、検討すべき課題が多くあり、導入にあたっては様々な方向から検討してまいります。	情報交通課
有害鳥獣対策について	近年、八坂地区において、イノシシ、鹿、猿害が多発している。防止策の設置などを行っているが、効果が表れていない。抜本的な対策として、猟友会による駆除費用助成の増額やわな猟免許取得助成など検討いただきたい。	農林水産課も捕獲策を検討しているが、抜本的な対策がない状況である。制度整備について、行政側に伝える。	八坂	有害鳥獣対策については、電気柵の設置のほか、市民の皆様にご協力いただきモンキードックやサル等の追い払い協力員による追い払い、各地区の猟友会の皆様による有害駆除や個体数調整を実施しています。猟友会にお願いしています駆除費の増額につきましては、今後、県内各市町村の取り組み状況等を調査するとともに、猟友会の皆様にも相談して検討してまいります。また、市では新規狩猟免許取得事業として、狩猟免許取得を目指す方に狩猟免許申請手数料及び初心者講習会テキスト代を助成していますので、活用いただくよう周知します。	農林水産課
高齢者の運転免許返納に対する対策	免許返納後、交通手段がなく買い物や通院などに苦慮している。シニアカーの購入に対する補助制度の新設を検討いただきたい。	シニアカー購入助成やデマンドバスなど検討するよう行政側に伝える。	八坂	運転免許返納後の助成措置として、市民バス乗車券48回分を交付しています。バス停までの距離が遠い方への対応策のひとつとしてデマンド交通の検討も必要と考えてますが、利用者のニーズと運行経費等、多くの課題があり慎重に検討してまいります。	情報交通課
				情報交通課で免許返納者に市民バス乗車券48回分を交付していますが、シニアカーの購入については、交通安全面等で課題があるため助成の予定はありません。	福祉課

平成29年度 市民との意見交換会における意見の整理・集約表(回答用)

	市民からの質問・意見・要望	当日の回答	会場	意見等に対する見解と対応策について	所管課
太陽光発電について	景観規制ガイドラインを制定するなど、規制強化する考えはあるのか。	現在、市開発指導要綱により制限している。大規模な開発行為については、県の条例による環境アセスメントも必要となる。小規模なものについて、市で規制する条例はない。市議会においても一般質問でその必要性について、行政に対して質問している。今後も行政側に要望していく。	八坂	太陽光発電施設の設置にあたっては、市開発指導要綱に基づき、必要に応じて事業者による事前説明や、住民要望に基づく改善措置を行うなど、運用に際し一定の効果が得られているものと考えています。県においても太陽光発電施設の景観面等への影響を考慮し、景観法の届け出行為に新たに太陽光設備を加えるなど、現行法制度下において可能な取り組みを強化しており、今後も必要に応じて対策を講じていきます。	建設課
美麻診療所について	診療所の医師が辞めてしまう可能性がある。診療所には子どもから高齢者までお世話になっている。もし辞めるとなれば大変な事態となる。途切れることがないように医師の確保をお願いしたい。	議会としても情報を確認し、必要があれば行政へ伝える。診療に隙間が生じないようにしていきたい。	美麻	現医師が本年9月末をもって退職することから、後任医師の確保のため、県医師確保対策室、国保連合会医師紹介センターに支援を要請し、ホームページに求人情報を掲載して募集しています。併せて、市立大町総合病院においても、医師確保に向けた情報収集を行っています。 万が一退職までに医師確保が困難となった場合は、大町総合病院と調整を図り、診療を継続できるよう最善を尽くします。	市民課
公衆トイレについて	自治連合会で市長に陳情に行ったが、美麻の事業は進まないのではとの印象を受けた。人口の少ない地域でも平均的なサービスを提供してほしい。特に公衆トイレはあまりにもひどい状態である。国際芸術祭で多くの観光客が来ても、汚いトイレは悪い宣伝となる。大町市の玄関口でもあるぼかぼかランドのトイレや新行のテニスコートのトイレ改修にぜひ力を入れてほしい。	行政に伝える。	美麻	新たな公衆トイレの整備は、地域の要望を伺い、地元地域の協力もいただく中で検討を進めます。	生活環境課
				ぼかぼかランドのトイレは、全体的な施設の活用について充分検討を行ったうえで、必要な施設整備を進めます。	美麻支所
				新行テニスコートのトイレは、市の実施計画において平成31年度に改修設計を予定しています。建設場所は、地域づくり委員会へも相談した新行グラウンド西側を考えていますが、同地区にはミーティングハウスも含め4か所のトイレがあり、地元の意見をお聞きし、テニスコートやグラウンドの利用状況、体育施設管理についての方針を決定する中で、既存のトイレの廃止等も含めトイレの整備を実施したいと考えています。	体育課